

新しい農業環境への対応

チッソ旭肥料株式会社

社 長 太 田 孝



明けましておめでとうございます。年頭にあたり読者の皆様方におかれましては、本年が実り多い年でありますよう心からお祈り申し上げます。

昨年日本経済は民間需要の牽引力は欠けたものの、財政出動により、99年度の政府目標の0.5%成長は達成可能であると判断されておりますが、依然として設備投資は低調で、又バブルの負の遺産は大きく企業のリストラ、雇用不安等多くの問題が残された年でありました。本年は本格的な景気回復の年にしたいものです。

さて、農業をとりまく環境は、新食糧法のもとでの新たな米政策の実施はあるものの過剰在庫や米の関税化が加わりさまざまな矛盾を残した状況が続いております。また、ダイオキシン騒動や遺伝子組み換え食品問題等これまでになく品質・安全に対する関心の高まりも見られました。

39年続いた農業基本法に代わり新たに食料・農業・農村基本法が制定され、その基本理念には食料の安定供給、農業の多面的機能の発揮、農業の持続的発展、農村振興が掲げられ、21世紀に向けての我国の農業の在り方が示されました。また、厳しさをます環境問題も循環型経済システムへの転換が必要とされ、新法と合わせいわゆる環境3法も公布されました。

弊社はこれまで環境にやさしい肥効調節型肥料である「LPコート[®]」、「ロング[®]」、緩効性窒素肥料「CDU[®]」をはじめ硝酸系高度化成肥料「燐硝安加里[®]」、泡状高度化成「あさひポーラス[®]」、園芸培土「与作[®]」、打ち込み肥料「グリーンパイル[®]」等開発上市してまいりました。今後も皆様のご要望にお応えしながら製品の改良を進めるとともに、変革期にある農業政策の展開方向に即した新しい肥料や資材の開発に取り組む所存でおります。

本誌「農業と科学」は昨年発刊30年を迎えました。これもひとえに各方面の方々の研究成果や新しい技術情報のご提供、読者の皆様方のご理解のおかげと感謝致しております。

本号では新しい年、新しい農業時代を迎えるにあたり農業の発展に日夜専念されておられる各方面の方々に御寄稿いただきました。今後もさらなる内容の充実化を図り、皆様方にいささかなりともお役に立てればと考えております。本年も相変わらず本誌をご愛読いただきますとともに積極的なご意見、ご批判を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら皆様方のご多幸とご繁栄を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。